

生薬としての蘭

2013年6月24日
明治大学法学部教授
夏井 高人

現代の中国において生薬や民間薬として用いられている蘭の中で主要なものを中国の主要な文献等から拾ってみました。

とりあげた蘭の種類は網羅的なものではありません。また、日本における用例とは異なりますし、典拠となる書籍によって異なる内容が記載されていることがあります。

下記の記載中の「学名」の部分は広義の学名です。

下記の記載中の「和名」の部分は標準和名または通名（園芸名等）を記載しています。

下記の記載中の「華名」の部分は網羅的なものではありません。生薬としての名前を記載している部分と蘭科植物としての中国名が記載されている部分とがあります。古文献上の記述との対応関係が疑わしいものが決して少なくなく、検討を要します。

下記の記載中の「部位」及び「効能」の部分も網羅的なものではありません。しかも、実際にそのような効用があるとの趣旨ではなく、そのような効能があるものだと一般に信じられているという程度の記載です。現実には、科学的な解明（疫学的調査や臨床治験等を含む。）がほとんどなされていないというのが実情です。

記

学名 *Acampe rigida* (Syn. *Acampe multiflora*)
和名 なし
華名 多花脆蘭
部位 葉
効能 骨折，打撲傷

学名 *Anoectochilus roxburghii*
和名 なし
華名 金線蘭
部位 全草
効能 解熱，消炎，解毒



学名 *Arundina graminifolia*
和名 ナリヤラン (成屋蘭)
華名 山葶薺
部位 ひげ根, 全草
効能 膀胱炎, 解毒, 解熱



学名 *Bletilla ochracea*
和名 キバナショウビャクキュウ (黄花小白芩), キバナショウハツキュウ (黄花小白芩)
華名 黄花白芩
部位 根茎, 花
効能 鎮静



学名 *Bletilla striata*
和名 シラン (紫蘭), ハクラン (白蘭), ビャクキュウ (白芩), ハツキュウ (白芩)
華名 白芩
部位 塊根
効能 慢性胃炎



学名 *Calanthe alpina* (Syn. *Calanthe finbriata*)
和名 キソエビネ
華名 流蘇蝦脊蘭
部位 根茎, 全草
効能 胃潰瘍, 腹痛, 歯痛



学名 *Calanthe triplicate*
和名 ツルラン (鶴蘭)
華名 三褶蝦脊蘭
部位 根
効能 リウマチ, 打撲傷, 胃痛



学名 *Cymbidium aloifolium* (Syn. *Cymbidium pendulum*)
和名 なし
華名 硬葉吊蘭
部位 葉, 茎, 果実
効能 肺炎, 気管支炎, 骨折等



学名 *Cymbidium ensifolium*
和名 スルガラシ (駿河蘭)
華名 健蘭花
部位 花
効能 目の疲労



学名 *Cymbidium floribundum*
和名 キンリョウヘン (金稜辺)
華名 金稜辺蘭, 多花蘭
部位 根, 全草
効能 鎮咳, 去痰



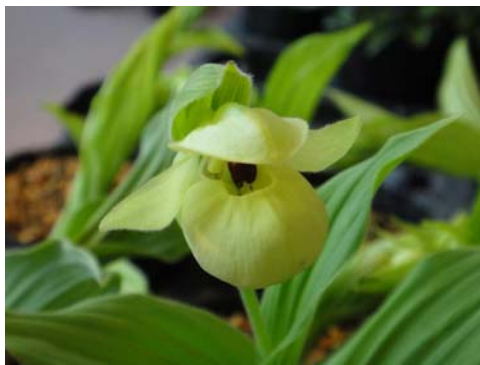
学名 *Cymbidium goeringii*
和名 シュンラン (春蘭)
華名 春蘭
部位 全草
効能 去痰



学名 *Cypripedium calceolus*
和名 カラフトアツモリソウ (樺太敦盛草)
華名 杓蘭
部位 全草
効能 活血, 鎮痛



学名 *Cypripedium flavum*
和名 ウンナンキバナアツモリ (雲南黄花敦盛)
華名 黄花杓蘭
部位 根, 全草
効能 利尿



学名 *Cypripedium henryi*
和名 ウンナンリョッカアツモリ (雲南緑花敦盛)
華名 緑花杓蘭
部位 根
効能 血行促進



学名 *Cyrtosia septentrionalis* (Syn. *Galeola septentrionalis*)
和名 ツチアケビ (土通草)
華名 土通草
部位 果実
効能 強壯, 強精



学名 *Dendrobium aduncum*
和名 なし
華名 鉤状石斛
部位 茎
効能 解熱

学名 *Dendrobium catenatum* (Syn. *Den. candidum*; *Den. officinale*; *Den. stricklandianum*; *Den. tosaense*)
和名 キバナノセッコク (黄花石斛), ホンセッコク (本石斛)
華名 鉄皮石斛
部位 茎
効能 解熱, 鎮痛, 健胃



学名 *Dendrobium denneanum*
和名 なし
華名 畳鞘石斛
部位 茎
効能 虚熱, 視力低下



学名 *Dendrobium fimbriatum*
和名 なし
華名 流蘇石斛
部位 茎
効能 解熱，健胃



学名 *Dendrobium hancockii*
和名 チクヨウセッコク（竹葉石斛），ヒメチクヨウセッコク（姫竹葉石斛）
華名 細葉石斛
部位 茎
効能 解熱



学名 *Dendrobium huoshanense*
和名 なし
華名 霍山石斛
部位 茎
効能 解熱, 鎮痛, 健胃

学名 *Dendrobium moniliforme*
和名 セッコク
華名 細茎石斛
部位 茎
効能 解熱, 鎮痛, 健胃



学名 *Dendrobium nobile*
和名 コウキセッコク (高貴石斛)
華名 金釵石斛
部位 茎
効能 健胃



学名 *Dendrobium wilsonii*
和名 なし
華名 鷄爪蘭
部位 茎

効能 虚熱

学名 *Epipactis papillosa* (Syn. *Epipactis helleborine*)

和名 エゾスズラン, アオスズラン

華名 膀胱七

部位 根

効能 咳の除去, 歯と目の痛み



学名 *Flickingeria fimbriata*

和名 カラセッコク (唐石斛)

華名 流苏金石斛

部位 茎

効能 解熱, 強壯

学名 *Gastrodia elata*

和名 オニノヤガラ (鬼矢柄)

華名 天麻

部位 根, 茎

効能 めまい, しびれ, 麻痺の除去



学名 *Gymnadenia crassinervis*

和名 なし
華名 短距手参
部位 塊茎
効能 造血

学名 *Gymnadenia orchidis*
和名 なし
華名 西南手参
部位 塊茎
効能 造血

学名 *Habenaria aitchisonii*
和名 なし
華名 落地金錢
部位 根
効能 ED, 解毒

学名 *Habenaria davidii*
和名 なし
華名 腎葉草
部位 塊根
効能 腎機能増強

学名 *Habenaria glaucifolia*
和名 なし
華名 双葉蘭
部位 塊根
効能 月経不順, 精神安定

学名 *Herminium lanceum*
和名 ムカゴソウ (零余子草)
華名 蛇尾草
部位 根
効能 止血



学名 *Liparis japonica*
和名 セイタカスズムシ (背高鈴虫)
華名 羊耳蒜
部位 全草
効能 産後

学名 *Ludisia discolor*
和名 ホンコンシュスラン (香港繻子蘭)
華名 石上藕
部位 全草
効能 精神安定



学名 *Neottianthe cucullata*
和名 ミヤマモジズリ (深山振摺)
華名 百歩還陽丹
部位 全草
効能 気付, 骨折



学名 *Phaius tankervilleae*
和名 カクチョウラン (鶴頂蘭)
華名 鶴頂蘭
部位 球茎
効能 鎮痛, 止血



学名 *Platanthera chlorantha*
和名 なし
華名 土白芨
部位 塊茎
効能 止血, 火傷

学名 *Platanthera japonica*
和名 ツレサギソウ (連鷺草)
華名 舌唇蘭
部位 全草
効能 呼吸困難, 止血



学名 *Platanthera ussuriensis*
和名 トンボソウ (蜻蛉草)
華名 半春蓮
部位 根
効能 口内炎



学名 *Pleione bulbocodioides*
和名 タリントキシソウ (大輪鵝草)
華名 山慈姑
部位 仮球茎
効能 除痰, 解毒



学名 *Pleione yunnanensis*
和名 ウンナントキソウ（雲南鵝草）
華名 滇独蒜蘭
部位 玉茎
効能 除痰



学名 *Ponerorchis chusua*
和名 チョウセンチドリ（朝鮮千鳥）
華名 珍珠参
部位 根
効能 滋養

学名 *Satyrium nepalense*
和名 なし
華名 対対参
部位 根茎
効能 腎炎，排尿

学名 *Satyrium yunnanense*
和名 なし
華名 雲南鳥足蘭
部位 根，茎
効能 腎虚，膀胱炎

学名 *Spiranthes sinensis*
和名 ネジバナ（捩花），モジズリ（捩摺）
華名 盤龍参
部位 根，全草
効能 神経衰弱，解毒等



学名 *Thunia marshalliana* (Syn. *Thunia alba*)
和名 なし
華名 岩笋
部位 全草
効能 骨折, 創傷, 打撲傷



学名 *Vanilla planifolia*
和名 バニラ
華名 香草蘭
部位 果実
効能 喘息発作, 胃痛等



[参考文献]

- 蕭 培根主編『中国本草図録』（中央公論社，1993）
上海科学技術出版社編『中薬辞典』（小学館，1985）
原色中国本草図鑑編集委員会編『原色中国本草図鑑』（雄渾社，1986）
木村 康一，木村 孟淳『原色日本薬用植物図鑑』（保育社，1964）
井沢凡人『原色日本薬用植物事典4』（誠文堂新光社，1962）
刈米達夫，木村雄四郎『和漢薬用植物 増訂第4版』（廣川書店，1939）
小林正夫『詳解日本の薬用植物』（農林漁村文化協会，1987）
杉本つとむ『小野蘭山本草綱目啓蒙—本文・研究・索引』（早稲田大学出版部，1974）
包 雪声，順 慶生，張 申洪，金 良標『中国薬用石斛図志』（中国科学技術文献出版社，2005）
陳心啓，吉占和，羅毅波『中国野生蘭科植物彩色図鑑』（科学出版社，1999）
高橋真太郎，難波恒雄，林 保子「中環草の剖見」生薬学雑誌 19 卷 1 号 13～24 頁（1965）